

各グループが決めた3つの課題と共感の持てる意見を紹介します。

**A** グループ テーマ：「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

- ①安全な交通を確保するには、どうすればよいのか
  - 震災等で壊れた道路や歩道のない場所など、道路・歩道の整備をする
  - 暗い場所へ街灯を増設する
  - 高齢者の安全のため、歩行者用信号の青点灯時間を延長する
- ②どんな公共施設を増やせば、安心して暮らせるのか
  - 老人ホームや老人が気楽に行ける施設
  - 多目的体育館などの運動施設
  - 災害時の避難所や食料等の保管庫（避難場所は明確にする）
- ③どのようにすれば、市民の放射線に対する不安を取り除けるか
  - 線量で色分けした細かい地図を作成して市民へ配布、ホームページなどに掲載するなど、放射線量の情報発信をする
  - 線量が高い場所を除染する



メンバー

- 草野 隼斗さん (中央中)
- 寺田 茂樹さん (白二中)
- 鈴木 美咲さん (東北中)
- 阿部 伶香さん (白河南中)
- 角田 和樹さん (表郷中)
- 飛知和竜誠さん (東 中)
- 十文字悠花さん (大信中)



メンバー

- 鈴木 健也さん (中央中)
- 深谷 碧さん (東北中)
- 根本 葉月さん (五箇中)
- 大竹 凌平さん (五箇中)
- 佐藤 拓人さん (表郷中)
- 須藤 慧さん (東 中)
- 井上 萌さん (大信中)

**B** グループ テーマ：「環境を守る美しいまちづくり」

- ①きれいなまちづくり
  - ボランティア活動として、定期的にごみ拾いをする
  - ごみ箱を多く設置し、ポイ捨てを減らす
  - 木の苗など植物を植える活動を増やす
- ②自然を守る
  - 公共施設などにポスターを掲示し、自然保護やポイ捨て防止を呼び掛ける
  - 再生紙ノートなどの使用やリサイクルの呼び掛けをする
  - エアコンはなるべく使わない、節水用蛇口に交換するなど省エネに努める
- ③住みやすいまちづくり
  - 道路、歩道を整備する（不備があれば早めに整備する）
  - 自転車専用道路を整備する
  - 公共施設をバリアフリー化する



メンバー

- 池田 有里さん (中央中)
- 酒井景之佑さん (白二中)
- 田代晃輔さん (白二中)
- 千田 拓実さん (東北中)
- 矢内 翔さん (白河南中)
- 仁科 百花さん (五箇中)
- 小林 彩莉さん (東 中)
- 大竹 絢子さん (大信中)

**C** グループ テーマ：「賑わいと活気にあふれるまちづくり」

- ①どのようなシンボルにするか（どのようにシンボルを活用するか）
  - 「これぞ白河！」と誰が見ても分かる新しいものをつくる
  - 歴史が深いことは自慢できることなので、小峰城、白河の関、南湖などをPRする
- ②どのようなイベントを行うか
  - 市のシンボルを活用したイベント
  - 市のシンボルを広げていけるイベント
  - 地域の人と触れ合うことができるイベント
- ③どのような施設をつくるか
  - 映画館、水族館、動物園などのレジャー施設
  - 温かみのある明るい商店街
  - 放置自転車を利用したレンタサイクル

◎特集 白河市子どもまちづくり研究会

# 10年後の白河は どんなまち

安心して暮らせるまちになってほしい  
賑わいのあるまちになってほしい  
美しいまちになってほしい

第2次総合計画の策定に向けて、本市の未来を担う中学生が10年後の白河について考える「子どもまちづくり研究会」が開催されました。今月号では、研究会での生徒たちのアイデア・提案や感想を紹介します。なお、詳細は市ホームページで公開しています。

◎本庁舎企画政策課 ☎1111 内2324

子どもまちづくり研究会の内容

市が取り組む重点プロジェクトのテーマを3つ設け、各中学校から参加した代表の生徒22人（3年生）がA、B、C3つのグループに分かれて、10年後の白河を目標に話し合いました。  
《重点プロジェクトテーマ》  
1 みんなが安心して暮らせるまちづくり  
2 環境を守る美しいまちづくり  
3 賑わいと活気にあふれるまちづくり

- ▷ 1回目（7月21日）：「白河市の好きなところ・嫌いなところ」について話し合い、課題を3つ決めました。
- ▷ 2回目（7月28日）：課題を解決するためのアイデア・提案について話し合いました。
- ▷ 3回目（8月4日）：グループ提案の発表、各グループのアイデア・提案の中から、「これは絶対に必要だ」と共感の持てる意見を参加者全員で選びました。

研究会に参加した感想（抜粋）

自分の知らなかった白河市の一面を知ることができ、良さを再確認することができた。

たくさんの中学生の意見を聞いて、共感できる場所や考えさせられるところがあった。

白河の活性化のために他校生と話し合い、交流を深めることもでき、とても良い経験になった。

私たち中学生は、この研究会で出た意見をもとに、今からできることをやっていこうと思う。

白河を良くするためにたくさんの意見を出し合う、今回のような機会は大切だと思う。

白河のことを考えるために、子どもの意見を取り入れることはとても良いと思った。

みんなが一生懸命考えたアイデア・提案が実行されることを心から願う。

話し合った意見が実現されれば、もっと白河を好きになると思う。